領域型研究支援事業募集要領

１．目的

科学研究費助成事業（以下「科研費」という。）「学術変革領域研究（Ａ又はＢ）」（以下「学術変革領域研究」という。）の領域代表者として応募予定の者に対し、ＵＲＡステーションのサポートによるアドバイザーマッチング、アドバイザーによる領域計画書添削、ヒアリング対策等の支援を行うことにより、領域代表者としての応募を促進し、もって、本学の外部資金獲得額の増加に寄与することを目的とする。

２．支援対象者

令和４年度科研費「学術変革領域研究」の領域代表者として応募を予定し、領域計画書の添削支援、ヒアリング対策の支援を必要とする者。

３．支援内容

（１）ＵＲＡステーションによるアドバイザーの紹介・マッチングの実施、アドバイザーによる領域計画書の添削支援

新学術領域研究の領域代表経験者や科研費大型種目の審査員経験が豊富なアドバイザーをURAがマッチングする。マッチング成立後は、必要に応じてURAが日程調整等を行い、アドバイザーによる計画調書の添削支援を受けることができる。また、公募に関する問い合わせ対応や情報提供などのサポートをURAが実施する。

（２）ＵＲＡステーションが主催する模擬ヒアリング

令和３年度公募に応募し、学術変革領域研究（Ａ）のヒアリング対象となった領域代表者は本支援事業に申請することで、URA ステーションが主催する模擬ヒアリング支援を受けることができる。また、令和４年度公募に向けた支援対象者の領域計画書が書類審査を通過し、ヒアリング対象となった場合は、翌年度であってもURAステーションが主催する模擬ヒアリングの支援を受けることができる。

４．申請方法

本事業による支援を希望する者は、支援申請書を部局等の事務担当を通じて提出するものとする。

なお、令和３年度科研費「学術変革領域研究」の領域代表者として応募した者は、その際に提出した「領域計画書」をもって支援申請書（本文）とすることができる。

５．支援対象者の決定方法

支援対象者は、支援申請書に基づき、研究戦略室長及び研究戦略室を担当する総長補佐が協議の上、随時決定する。

なお、昨年度に「研究構想資金支援事業（領域型研究支援）」による支援を受け、令和３年度科研費「学術変革領域研究」に応募した者も申請可能とする。

６．その他の支援条件（留意事項）

（１）支援を受けた者が、令和４年度科研費「学術変革領域研究」に領域代表者として応募し不採択となった場合は、その審査結果を提出しなければならない。

（２）支援を受けた者は、本事業の効果検証のため、研究戦略室が実施するヒアリング調査等に協力しなければならない。

【参考：「学術変革領域研究」について】

令和２年度から、新たに、次代の学術の担い手となる研究者の参画を得つつ、多様な研究グループの有機的な連携の下、様々な視点から、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導することなどを目的として創設された研究種目。

表　学術変革領域研究（Ａ・Ｂ）について

研究種目・区分	学術変革領域研究	
	（Ａ）	（Ｂ）
目的	多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。	次代の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループ（３～４グループ程度）が提案する研究領域において、より挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域の創成を目指し、将来の学術変革領域研究（Ａ）への展開などが期待される研究。
応募金額 （1 研究領域/年）	5,000 万円以上 3 億円まで ※真に必要な場合には、上限を超える応募も可能。	5,000 万円以下 ※領域代表者として１回に限り受給できる。
研究領域の構成	総括班・計画研究・公募研究	総括班・計画研究
	【計画研究】 〇「総括班」必ず一つ 「総括班以外の計画研究」相当数 〇次代の学術の担い手となるの研究者（４５歳以下）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」を複数含む 【公募研究】 〇１年目と３年目に１５件を上回ること 領域全体研究経費の１５％を上回ること	【計画研究】 〇領域代表者は、次代の学術の担い手となる研究者（４５歳以下）であること 〇「総括班」必ず一つ 「総括班以外の計画研究」複数 〇次代の学術の担い手となる研究者（４５歳以下）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」を複数含む ※公募研究は設けない
領域設定期間	５年間	３年間
審査区分 ※主に内容の中心とする大区分	Ⅰ：「A」（人文学・社会科学） Ⅱ：「B」、「C」、「D」、「E」（数物・工学・化学） Ⅲ：「F」、「G」、「H」、「I」（農学・生物学・医歯薬学） Ⅳ：「J」、「K」（情報学・環境学）	
審査方式	書面評価及びヒアリング	書面評価及び合議審査
公募時期	【令和４年度分】令和３年８月下旬～令和３年１０月中旬（予定）	